



Southeast Asia

Regional Network



News Letter

宇都宮大学 国際学部・国際学研究科 同窓会 東南アジア支部 ニュースレター

Southeast Asia Regional Branch, Faculty of International Studies & Graduate school of International studies Utsunomiya University Alumni Association

Vol. 4
May, 2018

CONTENTS

1. 懇談会@バンコク
2. 連載コラム～タイの昨今



1 佐々木学部長、重田先生、マリー先生ご来タイ



左から、大川さん(留)、ティーンさん(17年度修士修了)、佐々木学部長、重田先生、大宮さん
右から、玉城さん(留)、砂川さん(留)、谷澤さん、マリー先生、大畑さん

国際学部は2017年4月より2学科が統合され、国際学部国際学科として新たなスタートを切りました。新国際学部は単に社会学科、文化学科間の垣根が取り払われただけでなく「多文化共生」をキーワードとした体系的な教育プログラムによって、実践的課題解決型人材を育成する新たなコンセプトが盛り込まれています。そしてこの度、新国際学部始動のためにご尽力されている佐々木学部長、重田先生、マリー先生がご来タイされる機会に恵まれ、3月19日(月)バンコクにて懇談会を開催いたしました。佐々木学部長、マリー先生は国際学部設立当初より、そして重田先生は2007年より国際学部にてご活躍されています。会の中では昔話の他、同窓生やご退官された先生方の近況なども話題に上り、東の間の再会を楽しむことができました。時の流れを感じたひと時でもありましたが、先生方との再会は、古巣に戻ったようなそんな安堵感と共に、今も変わらない先生方のパワーとチャレンジ精神に刺激を受けるいい機会となりました。新国際学部の新たな門出に心から声援を送りたいと思います。先生方、またのご来タイお待ちしております！

2 第4回 ◆タイの昨今◆ 連載コラム

縁起担ぎ大国、タイランド

先日、新しい携帯電話番号取得の条件で、お得な値段でスマホの機種変更をしました。契約成立後に店員から「では電話番号を選びましょう」と促され行ってみると、スーツを着込んでメガネをかけた男性が私を待ち構えていました。そして「前の電話番号は？」と聞いて、手元の紙に何やら色々な数字を書き込み唸りながら、「うーん、あなたは主婦でしょうか？何でも自分で仕切る傾向にありますね…云々」「あなたの望むものはなんですか？云々」そこで私は気が付いた。この人占い師！？そうなんです。【電話番号を選ぶ=占い師がベストな電話番号を選んでくれる】ことだったんです。そう、タイ人は大の数字好き。毎月2回ある政府公認の宝くじを買う際も、見た夢や住所、車のナンバーなど身の回りの番号や、周りで起こった事象を基に数字を選び一攫千金を狙います。新車購入の際も、



平安無事を込めて、誕生日で吉凶数を算出するほか、相性のいい色も要チェック。我が家の新車、半年で2回も擦られる事故に見舞われました。これも占い師いわく、ナンバーのせいだとか。確かに色には気を付けたけど、ナンバーには無頓着だった結果がこれ？ご存知の方も多いと思いますが、タイで一番縁起がいい数字は「9」。9はタイ語で「ガーオ」=『進む』と言う意味。めでたい式典の開始時間は9時9分。結婚式も法事もお葬式も、お坊さんの人数は9人。ここは縁起担ぎ大国。(大畑)

LET'S JOIN!

東南アジア域内在住者・元留学生・

東南アジアに関心のある同窓生のみなさん

共に東南アジアの今を発信していきませんか？

まずは以下のURLかQRコードからご自身の情報をご登録ください！多くの方の参加お待ちしております

<https://creativesurvey.com/ng/reply/5de973a4d5e822f9910e38cf2e2c7/>

